



取扱説明書

マッドスクリーン

Model TM-10B

機械の設置、運転並びに保守を行う前に必ず本取説と付属している機械メーカーの取扱説明書を熟読し、内容を十分理解して下さい。

取扱説明書はすぐ参照出来るように、大切に保管して下さい。

株式会社クリステンセン・マイカイ

この度は、クリステンセン・マイカイ Model TM-10B-M マッドスクリーンを、ご採用頂きまして、ありがとうございます。

取扱説明書に出てくる危険マーク⚠の部分、特に重要な事項です。安全な作業を実施するために必ずお守り頂き、本機の性能を十分に発揮させ、末永くご使用下さい。

機械および取扱説明書の改良にともない、この説明書は予告なしで変更させて頂くことがあります。そのため、この説明書と機械との間で、多少内容の相違が生じることもありますので、あらかじめお断り申し上げます。

機械と取扱説明書の記載内容が異なる場合あるいは不明瞭な内容については、弊社にお問い合わせ頂き、不明点を解消したうえで機械をご使用下さい。不明点を残したまま機械を使用されて生じる直接、間接の損害については、弊社は責任を負えません。

なお、機械の故障やご不明な点につきましては、ご購入された販売店、弊社支店、弊社営業所にお問い合わせ下さい。お問い合わせの内容によっては弊社担当者が状況の確認のため、詳細内容をお聞きすることがありますので、必要と思われる以下の内容をお伝え頂きますと、より迅速な対応ができます。

- ①マッドスクリーン 型式
- ②ご購入先, ご購入時期
- ③現在の状況, ご不明内容

株式会社クリステンセン・マイカイ 支店,営業所一覧

- 本 社：東京都品川区西五反田 7-24-4 K.U.ビル 3F
TEL.(03)3490-8433 FAX.(03)3490-8622
- ◆東 京 支 店：東京都品川区西五反田 7-24-4 K.U.ビル 3F
TEL.(03)3490-8433 FAX.(03)3490-8622
- ◆福 岡 支 店：福岡市博多区山王 1-1-10
TEL.(092)436-1886 FAX.(092)436-1887
- ◆札幌営業所：札幌市白石区栄通 7 丁目 5 番 18 号
TEL.(011)850-0950 FAX.(011)850-0951
- ◆大館営業所：秋田県大館市清水 1-2-80
TEL.(0186)42-1667 FAX.(0186)42-1673
- 千 葉 工 場：千葉県長生郡長生村七井土 1473-1
TEL.(0475)30-1001 FAX.(0475)30-0661

目次

1. 安全のために必ずお守り下さい。	4
1-1 ご使用いただく前に	5
1-2 運搬、移動時には	6
1-3 電気関係については	6
1-4 本機を始動するときには	7
1-5 作業中には	7
1-6 作業終了後には	8
1-7 点検・整備を実施するときは	8
1-8 その他	8
2. 各部の名称	10
3. 据付	11
4. 運転前の点検	11
4-1 運転前点検項目	11
4-2 給脂について	12
5. 運転と停止	12
6. 定期点検と点検内容	13
6-1 定期点検一覧表	13
7. スクリーンの交換	14

1. 安全のために必ずお守り下さい。

<シンボルマークの説明>

ご使用前に、この「安全のために必ずお守り下さい。」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

ここに示した注意事項は、設備（製品）を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取り扱いをすると生ずることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。しかし「注意」の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

本書では、以下に示すシンボルマークを使っています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

1-1 ご使用いただく前に



- 作業に適した服装並びに保護具を着用してください。

服装が乱れていますと、機械にひっかいたり回転部に巻き込まれ、人身事故となる恐れがあります。また、ヘルメットや安全靴、保護メガネなどの保護具は必ず着用してください。

- 過労，病気，飲酒時には運転操作を行わないでください。

正常な判断が出来ず、思わぬ事故となる恐れがあります。

- 作業範囲には、関係者以外の立ち入りを禁止してください。

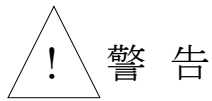
部外者が不用意に機械に触れ、思わぬ事故となる恐れがあります。

- 運転前点検を行ってください。

(6ページの“4-1 運転前点検一覧表”を参照してください)

部品の破損や故障、ボルトのゆるみ等で思わぬ事故となる恐れがあります。

1-2 運搬、移動時には



- クレーン等で本体を吊るときは、必ず4本吊りのこと。吊り箇所が少ない場合、機械が傾いたり、落下して人身事故になる恐れがあります。
- 吊り具は、本機を吊り上げるのに十分な耐荷重のものをご使用ください。
- 床面上を移動させる場合、搬送用コロの仕様並びに位置や人員配置にご注意ください。機械の転倒やコロの破損により、思わぬ事故となる恐れがあります。

1-3 電気関係については



- 電動機、電気機器の取扱説明書を、よく読んでご使用ください。
- 電源線を施工する場合は、電気の資格がある方に施工、または指導を受けてください。
- 電源線を施工する際は、スイッチ端子に確実に締めこんでください。
- 電源スイッチや電動機を水没させないでください。
- 電源線やモーターリード線に傷や劣化等の不具合がないか、運転前に点検を実施してください。

1-4 本機を始動するときには



- 周囲の人に合図と、周辺の確認をしてから、始動してください。
見えないところにいる人が、機械に巻き込まれたり、挟まれ、人身事故となる恐れがあります。

1-5 作業中には



- 運転中は可動部や振動部に不用意に触れたり、ものを当てたりしないでください。
巻き込まれたり、挟まれたり、ものが飛散して、人身事故になる恐れがあります。



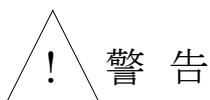
- 振動モータのウェイトカバーを付けて作業をおこなってください。
回転部に巻き込まれ、人身事故になる恐れがあります。
- 二人以上で作業をするときは、合図を確実にこなってください。
合図の確認ができないと、思わぬ事故になる恐れがあります。
- 本体をアンカー等で固定してください。
振動により本体が移動し、思わぬ事故になる恐れがあります。

1-6 作業終了後には



- 本体を清水で清掃してください。
付着した泥水が固体化し、再始動時に過大な力がかかり、思わぬ事故になる恐れがあります。

1-7 点検・整備を実施するときは



- 機械が完全に停止してから、点検や整備をおこなってください。
可動部に巻き込まれたり、振動部に挟まれ、人身事故になるおそれがあります。
- 振動モータのウェイトカバーを取り外した場合は、点検・整備完了後に、必ず元の位置に取り付けてください。
回転部に巻き込まれ、人身事故になるおそれがあります。
- 取り外したボルト類は、点検・整備完了後に、必ず元の位置に取り付け、確実に締めてください。
運転中にボルトがゆるむと、機械が破損し、思わぬ事故になるおそれがあります。

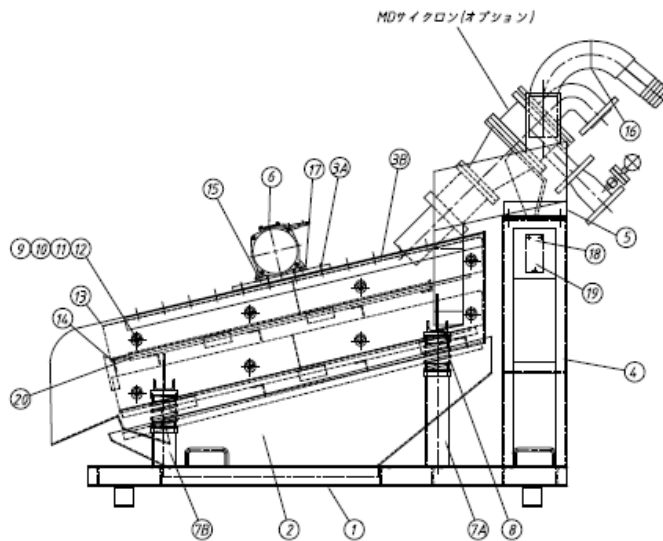
1-8 その他



- 本機に貼付けしてある銘板・警告表示（ラベル）は、剥がさないでください。
安全な作業をおこなうための重要事項が掲載されています。
ラベルは常に汚れや、破損のないように保ち、破損、紛失したときは新しいものに貼り直してください。

- 弊社の許可なく改造をおこなわないでください。
部品交換の時には、弊社指定の純正部品を使用してください。
許可なき改造や、純正部品以外の使用が原因で発生した事故には、弊社は責任を負いかねます。
- 本機を転売するときには、本取扱説明書を付属してください。
次に使用する方が安全な作業をおこなえるように、取扱説明書は本機と一緒に
お渡しください。

2. 各部の名称



1	ベース	648-730009	1
2	カバー(ホッパー)	648-730014	1
3A	モーター搭載台 M12 L40 8箇所ボルト止め		1
3B	振動フレーム	648-730016	1
4	フレーム 2	648-730011	1
5	タンク M10 L25 4箇所ボルト止め	648-730017	1
6	ユーラスモータ KEE-6-4B 3相 200V 0.25kW		1
7A	スプリング受け台(長)	648-730013	2
7B	スプリング受け台(短)	648-730012	2
8	スプリング大 10×100×140		4
9	スプリング小 40×50		16
10	ボルト M16 L140		16
11	厚ワッシャ M16用		16
12	長ナット M16用		16
13	スクリーン調整板		8
14	スクリーン 上段 2mm目・下段 0.5mm目		2
15	モーター取り付けボルト M10 L40		4
16	U字管投入口		1
17	モーター搭載ゴム L400		2
18	押しボタンスイッチ		1
19	電源コード		1
20	スクリーン受けゴム L1400		4

3. 据付



- 泥水供給ホースは、吸入管にしっかりと固定してください。
ホースが外れると、泥水が飛散して、思わぬ事故になる恐れがあります。
- 本機が地面や枠等にしっかりと固定されていることを確認してください。
- 泥水や残渣が決められた場所に排出されるように据え付けてください。

4. 運転前の点検



- ボルト類は、推奨締め付けトルクで締結してください。

4-1 運転前点検項目

表1 運転前点検一覧表

点検箇所		点検内容	処置・対策
機体	全体	亀裂や曲りはないか	部品の交換・修正
	ボルト類	ゆるみがないか	増し締め(表2参照)
	ウェイトカバー	取り付けられているか	確実に取り付ける
電気	操作ボックス	破損はないか	部品の交換
	アース線	接続されているか	確実に接続する
	電源線	サイズは適正か、傷はないか	2mm ² 以上を使用する

表2 ボルトの締め付けトルク

ボルトサイズ	推奨締め付けトルク kgf·cm(N·m)	
	普通ボルト	HT ボルト,穴付ボルト
M8	120(11.8)	220(21.6)
M10	240(23.5)	440(43.1)
M12	420(41.2)	
M16	1020(100)	

- 本機上に不要なもの(使用後の工具類等)がないことを確認してください。

4-2 給脂について

- 本機搭載の振動モータは、シールド付き深溝玉軸受けを使用していますので、給油の必要はありません。

5. 運転と停止



- 運転中は可動部に触れたり、ものに当てたりしないでください。
巻き込まれたり、挟まれたり、ものが飛散して、人身事故になる恐れがあります。
- 運転中は振動モータには触れないでください。
振動モータは発熱しています。手や体を触れないよう、注意してください。



- 振動モータのウェイトカバーをつけて作業をおこなってください。
回転部に巻き込まれ、人身事故になる恐れがあります。
 - 損傷、部品が欠けている振動モータは使用しないでください。
回転、振動中に、不測の事態が生じる恐れがあります。
 - その他の注意に関しては、振動モータの取扱説明書に従ってください。
 - 二人以上で作業するときは、合図を確実にこなってください。
合図が確認できないと、思わぬ事故となる恐れがあります。
- 1) 振動モータを始動してください。
 - 操作ボックスの“ON”ボタンを押す
 - 2) 泥水ポンプを始動して、泥水を本機に供給してください。

3) スクリーン上で泥水の固体と流体が分離するように、泥水ポンプの流量を調整してください。

4) 作業完了後、振動モータを停止してください。

- 操作ボックスの“OFF” ボタンを押す。

6. 定期点検と点検内容



- 点検結果による処置・対策作業は、振動モータが完全に停止して、主電源を切ってから点検をおこなってください。
可動部に巻き込まれ、人身事故になる恐れがあります。
- 緩めたボルト類は、確実に締めてください。
ボルトが緩むと、機械の損傷や位置ずれを起こし、思わぬ事故となる恐れがあります。

6-1 定期点検一覧表

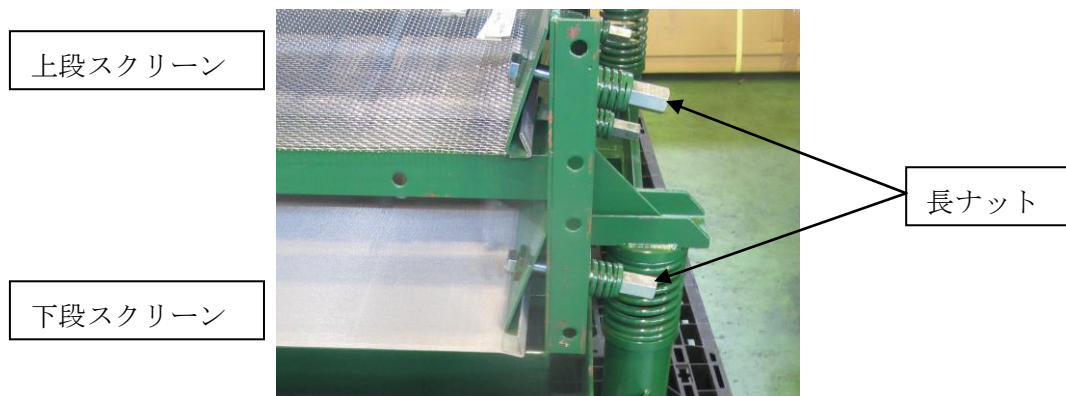
- 毎月1回、運転前点検に合わせて、次の点検をおこなってください。

点検箇所		点検内容	処置・対策
振動モータ周辺	モータ取付ボルト	締め付け状況	増し締め
	モータ搭載台ボルト	締め付け状況	増し締め

- その他、振動モータの取扱説明書を参照して点検をおこなってください。
- 本機搭載の振動モータは、シールド付き深溝玉軸受けを使用していますので、給油の必要はありません。
軸受け型式
ユーラスバイブレータ型式：KEE-6-4B
使用ベアリング：6306ZZ × 2個
- 週1回程度に、増し締めをおこなってください。
モータの取付けボルトは、M12 × 4本です。
- その他、定期点検の詳細は、振動モータの取扱説明書を参照してください。

7. スクリーンの交換

スクリーンは2段で設置しています。



1) 取り外し

- スクリーン調整板の長ナットを緩めて、取り外してください。上段のスクリーンから取り外してください。
- スクリーンを取り外してください。

2) 組み立て

- 組み立ては取り外しを逆の手順でおこなってください。